肢の膨大部等を顯微鏡下に覗くと，實に綺麗な縞模様である。

（習性） 樹林の下等の稍濕氣ある所に棲んで居る。

（備考） 本屬は日本特有にして二種ある。他種を *E. tuberculatus* Roewer 1911と呼ぶ。此の方は岡山と臺灣に產する事が明らかにされて居る。楯板の一，二，三節に各一列の小突起を有する點がコヤマムシと異つて居る。第二節に二本の稍大なる突起のある事は兩者同樣である。恐らく此の二種は今日まで割合に人々が採集しなかつたまでゞ，今後注意すれば，各地に產する事が明らかになる事と思はれる。而して此の兩者に酷似した種類は極めて多く，アマミムシ，タカヲムシ，タンゴムシ，キイルンムシ，オキナハムシ等々，素人には一寸區判の難しいものであるから，それらしき種類を採集しても，決して此の種だと早決めする事なく，必ず專門家の査定を仰ぐべき必要のある事を御注意申上て置く。 （昭和十一年六月五日稿）

Sakaguchi, S.-One method of collecting spiders.

蜘蛛狩と草刈

坂口總一郎

和歌山縣海草郡岡崎村 （昭和十一年六月二十日受領）

コガネグモやヂョラウグモの樣な大きな造網性の蜘蛛は兎に角として，所謂ハンターと呼ぶ仲間には，芝生や雜草の中に棲んで居て極めて小形なものが多く，而も中々に走る事が速い。故に如何なる蜘蛛狩の名人と云へども屢々貴重な珍品を見付けては取り逃す場合が多いものである。

それで小生はずつと以前から，これらの小形なハンターの採集法として，生徒に草刈を奬め，自分も之を實行して居るが，非常に興味の深いものである。故湯原清次氏や植村利夫君等も此の方法に依つて多數の珍品を見付けられた樣である。草刈に依る方法とは，先づこれからが最好の時季であるが，鎌を持つて野外に出かけ，適當な場所を見出して，一坪位の面積を外から內へ向つて周圍から

草を刈つて行くのである。すると其の草の間に棲んで居たハンターの連中は段々に追ひつめられて中心に集る。そして最後に殆ど豫定の草を刈つてしまつてから中へゆつくりと腰でもおろして其の中心に集つた蜘蛛を採集するのである。すると外に向つて逃げ出さうとしてもすぐ目につくから滅多に取り逃す事は無い。小生は此の方法によつて多數のデガバチグモを採集した事がある。

農村の學校等で生徒に蜘蛛を採集せしめるには．最も興味ある一方法として敢て此所に御紹介申上た次第である。

會 計 幹 事 敬 白

東亞蜘蛛學會の經營は一に會員各位の納附せられる會費に賴つて行くのでありますから，會費の滯納は直接會の發展は愚か現狀維持にも影響するのでして，別に經濟上の擁護者がある譯でありませんから會費の納入は幹事の督促を待たずにきちんとやつて下さい。差當り昭和11年度分未納の御方は挿入の振替貯金用紙御利用の上創立會員は3圓，通常會員は2圓を少しも早く御送金下さる樣願ひます。御納入は振替貯金によるのが最も安全且つ便利で成可く小爲替でなく振替御利用を望みます。會費領收に對しては一々受領狀を差出さず機關誌發行の都度誌上で御報告致しまからそれで御容赦願ひます。既に乘り出した船ですから彼岸に到達するか沈沒するかは船長以下乘組員の意氣込にも因ることですが，石炭や重油が斷れたら幾等船員の意氣旺盛でも運行前進は不可能です。斯ういふ特殊な學會も日本に存在して宜いと私共は信じて居りますから會員としての唯一の義務丈は必ず履行して下さる樣切に冀ひます。私共もインチキと非難を受けぬ樣會則に明示したことは是非實踐する積りです。立つ鳥あとを濁さずと云ひますから退會なさる際は早速事務所宛其の旨御一報下され、且つ會誌1冊分70錢の割で御受領になつた分の代金丈は淸算して下さい。斯んな些細なことから永く御互の間に感情の縺れを招來しては誠に殘念であります。會計事務は4月1日から開始致しましたが會計年度は毎年1月1日より12月31日迄と思し召し下さい。爰に取敢へず6月9日現在の會費既納者芳名を錄し受領證に代へます（受領順)。

創 立 會 員〔昭和11年度分〕

高島春雄氏　植村利夫氏　横川孫左衛門氏　佐藤淸明氏　山根靜雄氏　孫福正氏　藤田謹次氏　王雨卿氏　神田重夫氏　藤田衛氏　八木沼健夫氏　三宅中二氏　金丸久氏　高橋幸雄氏　小野武寬氏　南村淸二氏　中島利重氏　仲辻耕治氏　岸田久吉氏　川内盛雄氏　太田喜八郎氏　淺井志滿子氏　勝又要氏　山口鐵男氏　土肥豐吉氏　伊藤修匹郎氏　木村輝夫氏　白甲鏞氏　土居寬暢氏　河根誠氏　加藤正世氏